

～学部生も聴講できます～

《弦楽四重奏曲の歴史と魅力》

大学院「弦楽四重奏」特別講座&公開レッスン

会 場：シルバーマウンテン地下

日 時：7月13日(水) 10:00～12:00

特別講座

プログラム：B.バルトーク 「ルーマニア民族舞曲」第1,4,5,6楽章

■弦楽四重奏の歴史-1

- ☆J.ハイドン 弦楽四重奏曲 ニ長調 作品76-5 「ラルゴ」 第2楽章より
- ☆L.v.ベートーヴェン 弦楽四重奏曲 第1番 ヘ長調 作品18-1 第2楽章より
- ☆L.v.ベートーヴェン 弦楽四重奏曲 第7番 ヘ長調 作品59-1
「ラズモフスキー第1番」 第3楽章より
- ☆L.v.ベートーヴェン 弦楽四重奏曲 第14番 嬰ハ短調 作品131 第6楽章より

■四声体の魅力

★J.S.バッハ 管弦楽組曲第3番ニ長調より「アリア」(G線上のアリア)

■弦楽四重奏の歴史-2

★D.ショスタコーヴィチ 弦楽四重奏曲 第8番 ハ短調 作品110(全5楽章)

演奏/古典四重奏団 レクチャー/田崎瑞博

公開レッスン

モーツァルトセレナーデ「アイネ・クライネ・ナハト・ムジーク」ト長調 K525

【プロフィール 古典四重奏団 QUARTETTO CLASSICO】

川原千真 [第1 ヴァイオリン] KAWAHARA Chima

花崎淳生 [第2 ヴァイオリン] HANAZAKI Atsumi

三輪真樹 [ヴィオラ] MIWA Maki

田崎瑞博 [チェロ] TASAKI Mizuhiro

86年東京藝術大学及び同大学院卒業生により結成。レパートリーは80数曲にのぼり、そのすべてを暗譜で演奏。研ぎ澄まされた集中力と温かく透明なハーモニーを持ち、作品へのアプローチは極めて独創的である。全員がピリオド楽器(古楽器)の演奏もするが、古典四重奏団では通常のモダン楽器を使用。

現在【ムズカシイはおもしろい】【ショスタコーヴィチの自画像】【ハイドンの部屋】

【音楽が見える! in 新百合ヶ丘】【音楽が見える! in 青葉台】を継続中、レクチャーコンサート多数開催。ニューヨークの鬼オスティーヴ・ライヒと日本人として初めて「ディファレント・トレインズ」を共演、ほかにギリシア公演、ドイツ公演。「村松賞」「文化庁芸術祭大賞」「文化庁芸術祭優秀賞」「東燃ゼネラル音楽賞(旧モービル音楽賞)奨励賞」各受賞。

これまでに、ベートーヴェン後期(全4枚)、バッハ『フーガの技法』、

シューベルト『死と乙女』、モーツァルト『ハイドンセット』(全3枚)、バルトーク全6曲(2枚組プラス解説 CD)リリース。18年にショスタコーヴィチ全15曲をリリース予定。

古典四重奏団HP <http://www.gregorio.jp/qc/>



Photo/F.Fujimoto